日日新
每日新，日日新，又日新

南アルプス市立小中一貫校八田小中学校
南アルプス市立八田中学校

八田中通信

文責・発行　小林　紀浩

令和８年度
第５号
１１月１０日

八田地区教育を語る会



１０月１６日（金）の午後、八田中学校体育館で八田地区教育を語る会が行われました。八田地区在住の五緒川津平太氏を講師に招き、「方言を通し、地域文化の継承を考え、八田地区の良さをつなげよう。」をテーマに、講演会とパネルディスカッションを行いました。前半の五緒川津平太さんの講演では、甲州弁の魅力についてユーモアを交えながらお話しいただきました。子供たちにとっては、聞きなれない甲州弁や初めて聞く甲州弁もあったようですが、地域の温かさを感じる甲州弁について考える機会になりました。

後半のパネルディスカッションでは、小学生、中学生、保護者や地域の方など６名のパネラーがステージに登壇し、方言などの伝統や八田地区の良さをどうのようにつなげていくかなどについて、様々な視点で交流することができました。方言の持つ温かみや地域のつながりについてフロアも巻き込みながら参加者全員で八田地区について考える機会となりました。地域の方や保護者も大勢参加していただきありがとうございました。



「しなやかな心の育成」講演会

１０月２７日（火）に、山梨県出身で現在プロマウンテンアスリートの山本健一氏を講師に招き、「目標があるって、たのしいなぁ」というテーマでお話をいただきました。100 マイル（約 160 ㎞）の山岳レースで世界１位になったことのある山本さんの言葉には情熱とエネルギーがあふれていて、話に引き込まれ、あっという間に時間が過ぎていきました。苦しい時や困難に立ち向かうときほどポジティブな気持ちで一歩を踏み出すことの大切さや目標に向けて前向きに努力することの大切さを教えていただきました。

特に、お話の中にあった、「他人から信頼される行動をする」（＝時間を守る、掃除をしっかりする、挨拶ができる、練習に最後まで全力で）ことが大事だという話が印象的でした。八田中でも、生徒会を中心に日々のあたりまえの生活を大切にしています。たとえどんなに大きな目標でも、それに向かって、真面目に一生懸命一歩ずつ前に進んでいくことが何より大事であることを改めて教えていただいた講演会となりました。



県駅伝大会　応援を力に駅伝部力走

11 月 1 日（日）の県駅伝大会に、男女の駅伝部が出場し、みんなの応援を力に激走しました。男子はメンバー全員が３年生というチーム。最後の駅伝にかける思いが日々の練習からもひしひしと伝わっていました。結果は第３位で関東大会出場という素晴らしい成績でしたが、この結果を悔しがる３年生の姿がありました。大きな目標に向けてみんなで努力してきたからこその悔し涙。努力と成長の証だと思います。今月末の関東大会で有終の美を飾ってほしいと願っています。1 年生から３年生が集まった女子チーム。みんなで力を合わせてタスキをつなぎました。結果は９位。1，２年生は先輩の思いを受け継ぎ、２月の新人駅伝で飛躍してほしいと思います。

駅伝部のメンバーは、他の部活と兼ねて練習してきた生徒やクラブチームなどの学校の部活動以外で活動しながら練習してきた生徒ばかりです。10 月 27 日の駅伝部壮行会での全校生徒のエールが大きな力になったと思います。これからも、どの部もどの生徒も、みんなで仲間を応援し合えるチーム八田として、みんなで高みを目指していきたいと思います。保護者の皆様も多くの応援をいただきありがとうございました。全校生徒 151 人という小さな学校ですが、多くの人の応援や支えを力にして、学校全体としても成長していければなと思っています。





それぞれの目標に向けて　14 日強歩大会

11 月 14 日（土）（※15 日予備日）の強歩大会に向けて、体育の時間を中心にみんな一生懸命頑張っています。昨年は雨天のため中止となってしまいましたので、３年生以外は初めての強歩大会となります。12.5 ㎞という距離は、多くの生徒にとって走った経験のない距離だと思います。体育の時間でコツコツと積み重ねてきた努力を生かして、それぞれの目標・ペースでゴールを目指すことが大事です。きっと、肉体的にも精神的にも苦しい時が訪れると思いますが、その時こそ、山本さんの講演会での言葉を思い出して、一歩ずつ足を前に出して、ゴールした時の達成感を味わってほしいと思います。

八田中の強歩大会は旧八田村を周回するコースとなっており、一般の道路を走るため、生徒が安全に走ることができるように多く方のご協力が必要になります。当日は多くの地域の皆様、保護者の皆様にご協力をいただきます。本当にありがとうございます。無事に生徒たちがゴールできますよう、何卒宜しくお願い致します。

